

熱風

何を書く 風景に
荒れ狂う熱風にざわめく
けだるい音の酔い心地

毛虫は人家の中に避難して
汗の滲んだ白い肌
記憶の上を這ってゆく

風は全てを払うどころか
湿気でべっとり
塵をそこらにはりつける

頑なに心の嫌味な笑い
お前の僕への避難は
お前自身へのそれと知る

人の口を閉ざす熱風は
気まずい空にゴーと鳴る

坂上る僕は過去の中
葉っぱどものラインダンスを見る

(1983.5.7)